

2017年1月17日

富士重工業 タイでの CKD 生産開始に向けた合弁会社設立へ

富士重工業は、タンチョン・グループ(Tan Chong International Limited)傘下の TC Manufacturing and Assembly (Thailand) Co., Ltd. (以下 TCMA TH)と合弁会社を設立し、タイでのノックダウン生産(現地組立生産、以下 CKD 生産)を開始する予定です*。

現在、東南アジア地域でのスバル車生産は、マレーシアにある Tan Chong Motor Assemblies Sdn. Bhd.の工場にて、SUBARU XV およびフォレスターの2車種についてCKD生産を行っています*。
このたび、今後の東南アジアビジネスにおけるスバルの競争力強化と更なる成長に向けて、TCMA THが74.9%、富士重工業が25.1%を出資して、2017年2月に合弁会社「Tan Chong Subaru Automotive (Thailand) Co., Ltd.」を新たに設立し、タイでのCKD生産を開始する予定です。なお、生産開始は2019年を目指しています。また、マレーシアでのCKD生産は継続し、販売も現在と同様に、タンチョン・グループのスバル販売網を通じて販売していきます。

当社は、2014年5月9日に発表した中期経営ビジョン「際立とう2020」において、強い事業構造を創る取り組みの1つとして、東南アジア地域での強固な事業基盤の構築を掲げています。今回の合弁会社設立により、成長著しい東南アジア地域においても、スバルの「安心と愉しさ」を提案し、スバルブランドの強化と拡販を目指していきます。

* 富士重工業からのライセンスに基づく生産

《Tan Chong Motor Assemblies Sdn. Bhd.の概要》

所在地 マレーシア クアラルンプール
代表者 Ms. Cindy Lim, Executive Director
設立 1974年5月
資本金 200万マレーシア・リンギット
事業内容 自動車組立業

《Tan Chong Subaru Automotive (Thailand) Co., Ltd.の概要》

所在地 タイ バンコク
設立 2017年2月(予定)
資本金 50億タイ・バーツ(予定)
事業内容 自動車組立業